



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2022/11/30 №45

八地申6号

11/28提出

## 青梅線ワンマン運転実施における基本要件提出！

JR 東労組八王子地本は2月に「青梅線ワンマン運転実施について」の提案を受けワンマンプロジェクトを発足し安全と雇用を守り、魅力のある青梅線を目指すため組合員と議論を進めてまいりました。解明交渉では「変革2027」で鉄道起点からヒト起点へと変化していく中で人ならではの仕事へとシフトしていくこと、ワンマン運転の実施で安全面サービス面ともに下がらないことを確認しましたが施策を担うにあたって現場の組合員は不安を持っています。また長年にわたり立川車掌区の乗務員は安全第一で青梅線の乗務を担ってきました。組合員の雇用を守るため、施策に現場第一線で携わっていく組合員が安心・健康で働けるよう以下の通りに申し入れました。

1. 青梅線内第4種踏切を第1種踏切に変更すること。
2. 「ホリデー快速おくたま号」はお客様の需要を鑑み今後も運用すること。
3. ワンマン運転実施に伴い現行の停車時分を維持した上で青梅～奥多摩間の運転時分を拡大すること。
4. 多客時の対策として各駅に警備員を増配置すること。
5. ワンマン運転において集中力を維持する為に青梅～奥多摩間は連続2往復以上の乗務にならないようにすること。
6. ワンマン運転における教育・訓練は社員の理解度を把握し、社員から要請があるときはその都度対応すること。
7. タブレットだけの案内では時間を要するため、ワンマン担当者には紙面の運行図表を貸与すること。
8. ワンマン運転の担当者の拡大における教育・訓練は当初のカリキュラムから変更することがないよう丁寧に行うこと。
9. 乗務員室後方からNo.1とNo.2ドア戸袋付近にモニターによる死角があるため解消すること。
10. 傘および白杖を用いて実際にドアに挟み、モニターでの視覚訓練を全担当運転士におこなうこと。
11. 青梅駅到着時、駅係員による案内放送を強化すること。特に遅延時における接続は青梅駅が責任をもっておこなうこと。
12. 鹿等大型動物との衝突の際、被衝突動物を運転士一人で対応させることがないよう関係社員の手配をおこなうこと。
13. 青梅奥多摩間で乗務員疾病が発生した場合の取り扱いを具体的に明確化すること。
14. E233系ワンマン改造車は運転士が立ち上がりなどでモニターに頭部が衝突しやすいため、モニター下部に緩衝材を取り付けること。
15. 施策に伴う人事異動は、本人希望およびキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力を十分に考慮すること。
16. 青梅奥多摩間を担当できる車掌の要員を確保し、臨時列車等の運用に休日出勤で対応することがないようすること。
17. ワンマン運転実施に関わる施策について、拝島営業統括センター（青梅駅）、奥多摩駅関係社員には現時点で周知されていない為、丁寧に説明すること。
18. 青梅駅、奥多摩駅発車の際、乗車するお客さまの流動を運転士に伝達するため、改札窓口に乗務員無線を配備し活用すること。また、運転台乗務員無線のチャンネルを「上り」を定位置として徹底すること。
19. 青梅駅ホーム上のLED案内表示は2行2列車のみの表示のため、奥多摩行専用のLED案内表示を追加すること。
20. 社内貫通作業を確実にを行う貯めに拝島営業統括センター（青梅駅）の作業ダイヤを整えること。